

米MITの協力によりシンポジウム「KKC/MIT Startup Showcase Japan 2020—創造社会 Society 5.0 の実現に向けて」を開催

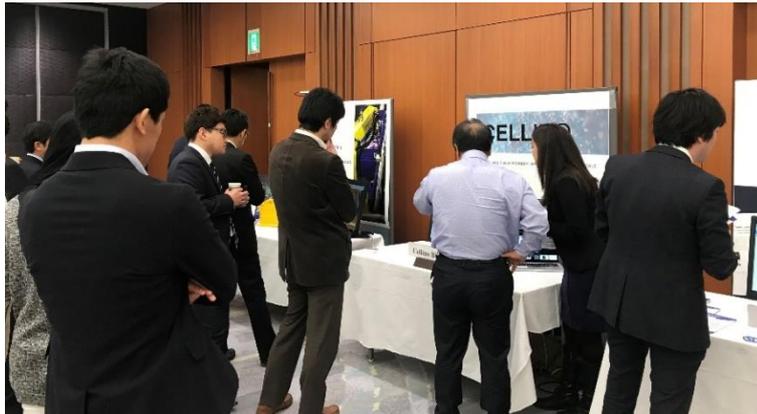
- 開催日： 2020年1月23日(木)
場 所： 経団連会館
プログラム：
・MITのイノベーション・エコシステム
 カール・コスター MIT Corporate Relations エグゼクティブ・ディレクター
・スタートアップ企業の最前線
 「インダストリアルオートメーションのための機械学習ソフトウェア」
 河本 和宏 Osaro 社 ロボティクス・ソフトウェア・エンジニア
 「人組織のイメージガイデッド・レーザードリブン製造」
 マリーナ・マドリッド Cellino Biotech 社 共同創設者・バイスプレジデント
 「フリートワイド効果のための自律型ディスプレイとルーティン」
 アリソン・パーカー Wise Systems 社 バイスプレジデント
 「商品/物へのデジタルIDの付加技術」
 ピーター・ギローリー DUST Identity 社 戦略的パートナーシップ代表
 「フォトニックAIアクセラレータチップ」
 ボアズ・エフロニ・ロットマン Lightelligence 社 バイスプレジデント
 「神経障がい治療向け非侵襲システム」
 ネーダー・ヤグハウビ PathMaker Neurosystems 社 共同創設者・社長兼CEO
 「動的ワークセルにおけるロボットの自律」
 門田 陽一 Realtime Robotics 社 ディレクター(日本)
 「量子コンピューティング向けアルゴリズム」
 クリス・ブラウン Zapata Computing 社 ディレクター
 「データ、AI、ロボティクスによる、材料と化学物質の発見」
 スコット・ヒーリー Kebotix 社 バイスプレジデント
・MIT スタートアップ・エコシステム サクセスストーリー
 マーカス・ダールフ MIT Startup Exchange プログラム・ディレクター
・スタートアップ企業との交流

経済広報センターは1月23日、米マサチューセッツ工科大学産業学際会（MIT-ILP）の協力のもと、東京・大手町の経団連会館で「KKC/MIT Startup Showcase Japan 2020—創造社会 Society 5.0 の実現に向けて」と題するシンポジウムを開催した。

AIや量子コンピューティング、ロボティクスなどによりさまざまな社会課題の解決に取り組むMITスピンオフのハイテクスタートアップ9社から代表者が登壇し、独自の技術を紹介した。また、MITコーポレート・リレーションズのカール・コスター・エグゼクティブ・ディレクターとMITスタートアップエクステンジのマーカス・ダールフ・プログラム・ディレクターが、MITのイノベーション・エコシステムや、大企業とスタートアップの協業事例を紹介。会員企業・団体関係者ら約

110名が、MITでの研究成果を基にした最新技術や協業の成功例について熱心に耳を傾けた。講演終了後には、聴講者とスタートアップ9社との交流会が行われ、技術や製品を紹介する特設ブースで活発な意見交換が行われた。

今回、同シンポジウムで講演を行ったのは、Osaro社、Cellino Biotech社、Wise Systems社、DUST Identity社、Lightelligence社、PathMaker Neurosystems社、Realtime Robotics社、Zapata Computing社、Kebotix社の9社。生産現場の自動化、産業用ロボットの機能強化のための機械学習ソフトやモーション・プランニング技術、神経障害向け治療システム、配送業務の最適化のためのルーティング・システム、量子コンピューティング向けアルゴリズムなど、最新技術の社会実装を目指して



いる。電機、素材、医薬、自動車、建設、エネルギー、金融、商社などさまざまな業種から幹部や企画部門の担当者が訪れ、スタートアップ各社との連携・協力に向け交流する機会となった。

以上

一般財団法人 経済広報センター 国際広報部

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-2 経団連会館19階

電話：03-6741-0031

<http://www.kkc.or.jp/> ※本稿の無断転載を禁じます。